

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら堺教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 10日		2025年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	宿題などの机上課題、個々の余暇、集団活動とメリハリをつけながら、個々に寄り添い支援を心掛けていることです。	一人ひとりの興味・得意・苦手を丁寧に把握し、それぞれの特性に応じた明確で具体的な個別課題を毎回準備しています。課題は無理のないステップアップで設定し、小さな成功体験を積み重ねられるよう配慮することで、段階的な目標達成へとつなげます。ご本人が自信を持って取り組める環境を整え、安心してチャレンジできる時間を大切にしています。平日の放課後だけでなく、土曜日・祝日・学校長期休業時には多様な特別プログラムを実施し、児童が幅広い経験を積めるよう工夫しています。季節イベント(クリスマス、夏祭り、ハロウィンなど)は、行事の楽しさを味わいながら社会的ルールや役割分担を学べる機会として計画的に取り入れています。また、屋外での活動(公園での遊びや運動)や屋内での学び(博物館見学やワークショップ)、地域行事(福祉秋祭りへの参加など)を通じて、実社会での経験を広げることが重視しています。これらの活動は単に「楽しむ」だけでなく、社会性の育成、集団でのやり取り、感覚調整、公共マナーの学習などを意図的に盛り込んでいます。安全面の配慮はもちろん、児童が「やってみよう」と思える活動の企画を意図しています。	日々の活動においては、個別課題の質と内容の充実に一層力を入れていきます。ご本人の特性や発達段階、興味・関心、得意・不得意の傾向を丁寧に観察し、達成感を感じながら無理なくステップアップできるよう、一人ひとりに合わせた課題設定を行っています。具体的には、課題の難易度や提示方法、支援者の関わり方を細かく調整し、理解しやすく、取り組みやすい形で提供していきます。
2	職員間での情報共有し、チームとして一貫した支援を行うことができています。定期的な会議や振り返りを通して支援内容を見直し、より質の高い支援へとつなげています。	支援終わり、翌日出動した方には日誌だけでなく口頭でのフィードバックを心掛けています。	今後は、これまでの実践を基盤に、非常勤職員への伝達もスムーズにできるよう、支援体制の構築を目指します。
3	ボール遊びができる広さがあり、運動遊びやブロックなどの机上遊びと好きな遊びを選択できます。	ボール遊びや走るなどのスペースと、ブロックなどの遊びのスペースを視覚的にわかるように分けています。そのため、ボール遊びも楽しむことができ、またブロックやおままごとなどの遊びも安心して行うことができます。	運動遊びはボールを使った遊びがメインになっていますので、他にもみんなが楽しめるような遊びをたくさん提案して放課後に様々な経験ができるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	宿題や机上課題に取り組む環境について、子どもたちがより集中しやすく、落ち着いて学習できるような環境づくりが今後の課題です。	指導員が全体を見渡せる構造になっております。壁向きやグループの席を設けていますが、あとから通所される児童が勉強する際、遊びが始まっている可能性があります。	机上課題のサポート方法や時間の使い方などについて工夫していきたいと考えています。支援の質の向上や、チーム全体での一貫した関わりが深まるようにしていきます。
2	高学年の児童への支援時間、内容について難しいと感じています。	放課後の利用時間の短さも一つの課題です。特に小学生の利用では、下校時刻や通所時間の関係から、事業所で過ごせる時間が限られており、支援や活動に十分な時間を確保しにくい場合があります。	短い時間の中でも効果的に取り組めるように個別・集団などの支援内容や、子どもたちが安心して楽しみながら成長できる活動構成を工夫していきます。
3	地域の小学生との交流の機会は少ないと感じています。	事業所内や、大きな公園へのお出かけは多いが、近隣の公園や学校内で遊ぶことが少ないです。	地域の小学校へグラウンドの提供をお願いしてみたり、事業所として地域のお子様も来てもらえるイベントや取り組みが必要だと思っています。子どもたち一人ひとりの成長を大切に、家庭や学校、地域と協働しながら支援の質を高めていけるよう取り組んでまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こぼんはうすさくら堺教室

公表日 令和7年10月31日

利用児童数 27

回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24					
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23				1	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					
	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	2	1	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					
	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3		6		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	3	6		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23			1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		2	感染症は学校保健法に則って利用可否して下さいくらいで、具体的な感染症2類級対応マニュアルの説明はなかった気がする。	ご意見ありがとうございます。マニュアル設置場所を定期的にお伝えし、口頭でも詳しく説明するように致します。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			7			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1				子ども同士の喧嘩等の対応の説明が具体的になかったと思う	ご意見ありがとうございます。説明が行き届いておらず大変申し訳ありませんでした。HUGや口頭にて詳しく説明するように、職員間で共有いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	3			1年前まで通うのが苦手でどうなるかと思っていましたが、先生達の優気強い関わり方で本当に今は、楽しみに通わせて頂いています。楽しい様で通所後は精神が安定しているように思います。ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。お子様が安心して楽しく通えるように、今後も職員で様々な支援方法を考え共有していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				いつも丁寧な支援や対応に感謝しています。ごぼんさんでの安心できる環境があるからこそその成長があり、とても有り難い気持ちでいつもいます。	ご意見ありがとうございます。保護者の方のご協力があり、より良く支援できております。安心して過ごしていただけるような支援を心掛けていきます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こぼんはうすさくら堺教室				公表日	2025年 10月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・机上課題をするスペース、体を動かして遊ぶスペース、座って遊ぶスペースが十分あります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・指導員の人数は適切です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・視覚的にスケジュール、TEACCHなどで工夫しています。 ・TEACCHや、PECSが必要な利用者には、準備していたり、教室でのスケジュールを提示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・支援終了後、教室やトイレのそうじ、おもちゃの消毒を必ずしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・特性、児童に合わせて安心して過ごせるように配慮しています。 クールダウン時や課題時にパーテーションを使用し、落ち着いて集中できるようになってきています。 ・机と机の間に仕切りをしている。 ・パーテーションの中や、マット上で休めます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・相談事業所、小学校、他事業所等と担当者会議を開催しています。 ・定期的に会議をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎月放課後等デイサービス会議を開いています・ ・会議を行い、利用者のごだけでなく、イベントについても話し合っていて欠席時にも申し送りを行っています。	・さらに頻度を増やし利用者の様子や関わり方も全員理解できているようにしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・毎月放課後等デイサービス会議を開いています。 こぼんはうすさくら教室からの研修を毎月一回開催されています。 ・こぼん本部のリアルタイムの研修やズーム研修があります。		
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・保護者にフィードバックを行っています。 ・HUGを活用して公開しています。 ・ホームページや、堺市ホームページにも公表して頂いています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・お聞き取りシートをお渡し、面談等行っています。	・高学年の児童には、児童自身の言葉でお話してもらい、計画に今後入れてもよいかなど思っております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・普段から、支援後に共有しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			・移行支援は、今後、児童の発達に応じおこなっていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・外出プログラムやクッキング等も話し合っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・毎月一回会議を行い、児童に合わせた楽しめるプログラムを5領域に合わせ会議を行います。 ・毎月、5領域で集団プログラムが行えるように、担当が、決められており、全指導員が内容を考え取り組んでいます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			・毎日の個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・毎日打ち合わせをしてから支援が行われています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・朝礼、夕礼でヒアリング、イレギュラーであった、その日の出来事を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・朝礼、夕礼でその日の出来事を共有しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・専門的支援計画者の記録や、意見を反映しています。保護者の方からもご意見をいただいております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・親子サッカーなど、などを通じて児童、家族、支援員で関わっています。	・今後、研修の機会、提供が出来る様に私たちも学んでいきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・兄弟と一緒に参加できそうなイベントは、サッカーやお餅つきをしています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月、行事やイベントをイラスト付きでわかりやすく、見やすいものを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・保育園と消防訓練、警察署訓練を事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。 ・ハロウィンイベントに、お菓子をもらいに行くのを地域のお店の方に協力して頂いています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・保育園と消防訓練、警察署訓練を事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	・研修は行っているので、訓練を今より定期的に行っていくようにしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・てんかん発作時、どの状況で救急車を呼ぶかなど周知しています。 ・服薬については保護者の方が連絡してくれています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・常日頃から職員で共有、研修しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			